

# 松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉  
 E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>  
 松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」  
 〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

いよいよ2020年が始まりました。今年の注目は東京オリンピック・パラリンピック。世界のアスリートたちに負けないように、わたしたちも夢と感動あふれる一年にしたいですね。また、今年は4月から小学校において新学習指導要領が施行され、英語の教科化、プログラミング教育の必修化など大きな変革の年でもあります。子ども支援研究センター職員一同、誠心誠意努力してまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。

## 外国人幼児のための就学前支援教室「ふたば」

1月11(土)より、来年度市内小学校に入学予定の外国人幼児を対象とした「ふたば」が始まりました。3月21日(土)まで毎週土曜日に行います。今年度は、フィリピン、ポルトガル、中国、ベトナムの子どもたち18人が「ふたば」で、小学校で使う簡単な日常会話や日本語を学びます。また、給食当番、掃除など体験活動を通して、日本の学校の文化も楽しく学びます。保護者の方には、通学団、1年間の行事、学童保育など、小学校生活における様々な情報提供を行います。

第1回は、学校に持って行ってよい物、持って行ってはいけない物を学びました。また、自分の名前をみんなの前で言ったり、鉛筆で線を書く練習をしたりしました。周りの友だちや先生にほめられて嬉しそうにしている姿がほほえましかったです。全11回を通して、子どもたちや保護者の方の不安をなくし、楽しい小学校生活を送ることができるよう支援していきたいと思えます。



## 研修講座報告その4 ～研修講座の様子をご紹介します！～

### B-12 生徒指導Ⅱ 不登校について考える

講師 森川 泉 先生

子育てをとりまく時代状況の把握、父性的なかかわりと母性的なかかわりの重要性、家庭訪問の際に子どもに脅威を与えないアプローチなどについて、わかりやすくお話しいただきました。子ども・保護者理解におけるヒントやエッセンスが涵養される講座となりました。



## B-13 学級づくり 「思春期のライフスキル教育」

講師 中村 千恵子 先生

ライオンズクエスト ライフスキル教育プログラムに基づき、受講者がさまざまな体験活動しながらプログラムの内容や手法について学びました。受講者どうしながともに考え・気づき、教育現場や生活での活用方法を学ぶことができました。



## B-14 特別支援教室 今日の課題を踏まえた特別支援教育について

講師 松浦 直己 先生

発達性ディスレクシアにおける脳の音韻中枢の問題と、人類進化の過程などの関係について、ご指導くださいました。医学での限局性学習症群と教育での学習障害の違いをふまえ、今後の子どもたちへの対応の仕方考えることができました。



## 教育関係書籍貸し出し中！ぜひご活用ください！

教育関係書籍、随時追加しております。お近くにお越しの際に、当センターの事務所にお立ち寄りいただき、ぜひご活用ください。一部をご紹介します。

書名	著者
学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす	中山 芳一
子どものころ、大人のころ	原田 眞理
知っておきたい入管法 増える外国人と共生できるか	浅川 晃広
AI時代を生きる子どもたちの資質・能力	赤堀 侃司
「ふつうの子」なんて、どこにもいない	木村 泰子
現代的学校マネジメントの法的論点厳選10講	高橋洋平・栗山和大
岩田さん 岩田聡はこんなことを話していた。	ほぼ日刊イトイ新聞
ケーキの切れない非行少年たち	宮口 幸治
興奮しやすい子どもには愛着とトラウマの問題があるのかも	西田泰子・中垣真通・市原眞記
支援が困難な事例に向き合う発達臨床	別府 悦子・香野 毅
小学校英語の文字指導	アレン玉井 光江
調査報告 学校の部活動と働き方改革	内田良・上地香社・加藤一晃 野村駿・大田知彩

- ☆ 松阪市子ども支援研究センターホームページの「蔵書案内」より検索できます。新着書籍、過去の書籍等は、ホームページに掲載しております。
- ☆ 貸出期間は原則2週間です。事務所にて貸し出し手続きができます。